

# MIRAI NEWS

小田川ひろし

4年間の軌跡

差出人

小田川ひろし後援会 つくばみらい市福原457-1

討議資料



# 6つのみらいビジョン 公約100%実践中

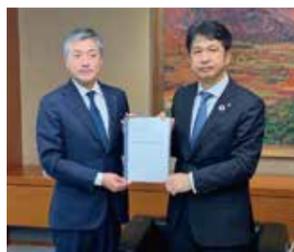
4年間の  
実績



## 1 徹底した行政改革

### バランス良いまちづくり!

- ✓ **市民の声が届くまちづくり**
  - みらいを語るば meeting で積極的に意見交換を実施
  - 市長へ寄せられる、語るばメールを **100% 回答**
- ✓ **都市計画の見直し**
  - 福岡工業団地  
第1期32haを早期に完売  
第2期72haの整備計画を実現!!
  - スマートインターチェンジ  
誘致成功! 令和6年供用開始!
- ✓ **地元を大切に作る仕組みづくり**
  - 積極的な要望活動にて、みらい平  
市民センターに郵便局を誘致
  - 3年間で、市内事業者数は1443社  
から1622社へ179社増



## 4 みらい型農・産業

### 地域農・産業の推進!

- ✓ **みらい型農業を推進**
  - 全国初、(株)クボタと連携し、「農機シェアリングサービス」を開始
  - 井関農機(株)と連携し、スマート農業を推進
  - 米コンテストを開催し、食味を可視化
- ✓ **新しいビジネスが始まるまちへ**
  - スマート農業や農機シェアリングに伴い、新規就農相談件数3.0倍。新規就農者数2.9倍を実現
  - 地元企業とタッグを組み、先進技術やノウハウを活用し、まちづくりの課題解決に向けてチャレンジ
  - 筑波大学と連携、地産地消など課題解決のための共同研究
  - 新商品開発の補助金制度を創設



## 2 健全な財政

### 財政危機にストップ!

16億円

- ✓ **健全で継続可能な政策**
  - 借金の減少、H29年度328億円→R3年度310億円。マイナス18億円
  - ふるさと納税、H29年度1,600万円→R3年度約16億円
  - 新たな財源確保。地方創生推進交付金・企業版ふるさと納税を獲得し、事業推進。



## 5 安心の子育て

### 安心して暮らせるまち!

- ✓ **安心して出産できる環境づくり**
  - 「産科医療施設開設補助制度」を創設し、産婦人科を誘致(県内10年ぶり、2022年オープン予定)
  - おやこまるまるサポートセンターを開設。産まれる前から切れ目なく子育てをサポートできる環境づくりを実現
  - 授乳相談や育児相談などの産後ケアを「訪問型」「通所型」「宿泊型」にて実現
  - 子育てを全力サポート、子育て世帯15年連続増加



- ✓ **未来を担う子どもを育てる教育**
  - マル福対象者を高校生相当まで拡大。ひとり親の医療費自己負担ゼロを実現
  - 待機児童 H29年度29人→R3年度0人を実現
  - ALT(外国語指導助手)とのチームティーチングで、専門的な英語教育を実現。英検3級相当の割合43%→65%へ
  - GIGAスクール構想実現のため、ICT支援員を配置。小中学校の全児童へ、タブレット端末を支給
  - 伊奈東中にゴルフ部を創設。地域に密着した特色のある部活動を実現
  - 県内初、全中学生の自転車保険加入料を市が負担

## 3 健康・福祉

### 頼れる福祉!

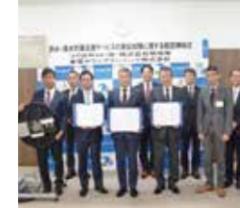
- ✓ **安心して過ごせる老後**
  - 筑波学園病院・JA とりで総合医療センターまで直通の無料病院バスを運行
  - (株)カスミと提携し、市内61ヶ所で移動スーパーを展開
  - 1日27本→46本、2台→5台へコミュニティバス大幅増便。「ゼロカーボンシティ」へ、県内初となる電気バスを導入
  - きらくやま入浴施設をリニューアル
- ✓ **障がいがあっても自分らしくあるための環境づくり**
  - 緊急通報システム見守りサポートを導入
  - コミュニティバス、デマンド乗合タクシー運賃割引制度拡充
  - ゴミ出し支援事業
- ✓ **子どもの成長を応援**
  - こども食堂を市内6ヶ所で実施
  - みらい土曜塾開校で、「学びたい」を応援(無料)
  - 全ての子育て世帯へ市独自に最大3万円のコロナ応援金を給付
  - 小中学校の体調管理のために健康観察アプリ「LEBER」を導入



## 6 安心安全を実感

### 災害に強いまち!

- ✓ **災害と犯罪に強いまちづくり**
  - 防災アプリを導入
  - 防災行政無線のデジタル化
  - ワンタッチテントの導入など、コロナにも対応した避難所環境の整備
  - 市内、防犯カメラを設置(H29年度0台→R3年度39台)
  - 災害協定を積極的に締結。それまで、24年間で33協定だったものが、H30~R3までの4年間で23協定締結



◀中面もご覧ください▶ 4年間で多くのみらいビジョンを実現してきました。公約を100%実践中 ▶▶▶ここから開ける▶▶▶

# 小田川ひろし公約100%実践中! これだけ変わった「つくばみらい」!

PRACTICE  
01

## ふるさと納税に全力

平成29年度

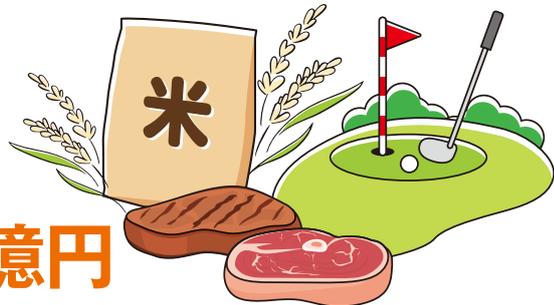
1,600万円

約100倍

令和3年度

16億円

ふるさと納税は、公園の維持管理、スクールバスの運行、みらい土曜塾運営などに使われています。



PRACTICE  
02

## 借金の減少



平成29年度

328億円

令和3年度

310億円

マイナス

18億円

PRACTICE  
03

## 保育の充実

保育士  
保育施設の  
拡大

待機  
児童

0人



PRACTICE  
04

## 教育の強化

英語指導者の増員  
(8人→22人)

3倍

(H29比較)

英検3級相当を  
保有する中学生の割合

43% → 65%

(H30比較)



みらい土曜塾  
スタート(無料)

1,500人以上  
参加

(R2.10新設)

市独自の予算で  
スクールスタッフ

112名  
増員

(R3)

学びを  
応援

PRACTICE  
05

## みらい型農業の推進

- スマート農業の取組(R2から実証実験開始)
- “全国初”農機シェアリング(R3から実施)

新規就農者

3倍

(過去5年平均と比較)

新規就農相談者

さらに 7人 → 21人

(過去5年平均と比較)



PRACTICE  
06

## 病院バス創設

筑波学園病院・JAとりで総合医療センター  
まで無料で運行(R2.6~運行開始)



農家の所得UPへ  
ブランド戦略

R3年第1回  
米コンテスト開催

米・食味分析鑑定コンクール  
国際大会認定

2,500人以上  
総利用者数



PRACTICE  
07

## 迅速なワクチン接種

- 個別接種に加え、集団接種対応を充実
- 高齢者送迎バスを運行

7割接種率

1位

県内  
(人口5万人以上)

接種スピード

全国平均 1.5倍



「市民に寄り添い、必ず実行」  
小田川ひろし後援会

小田川ひろし

<https://odahiro.jp>

